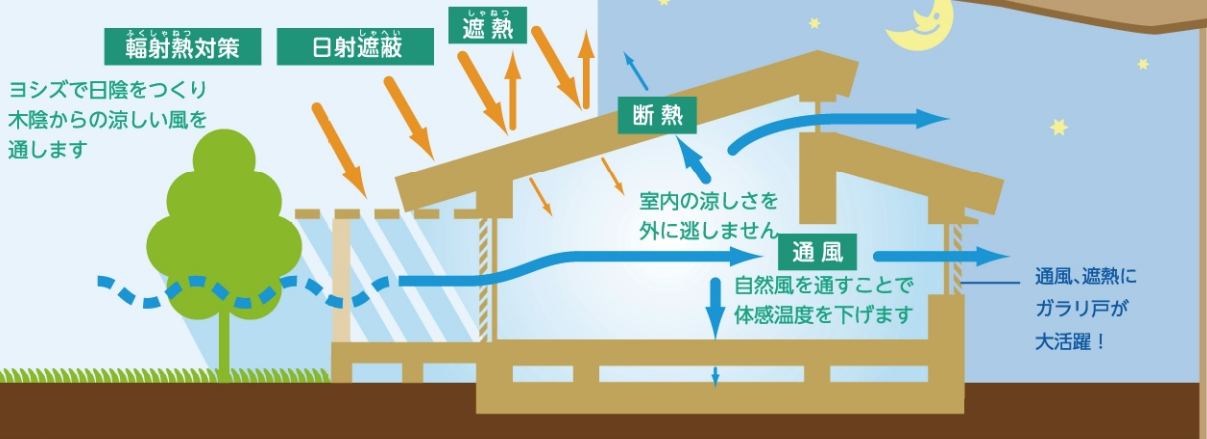
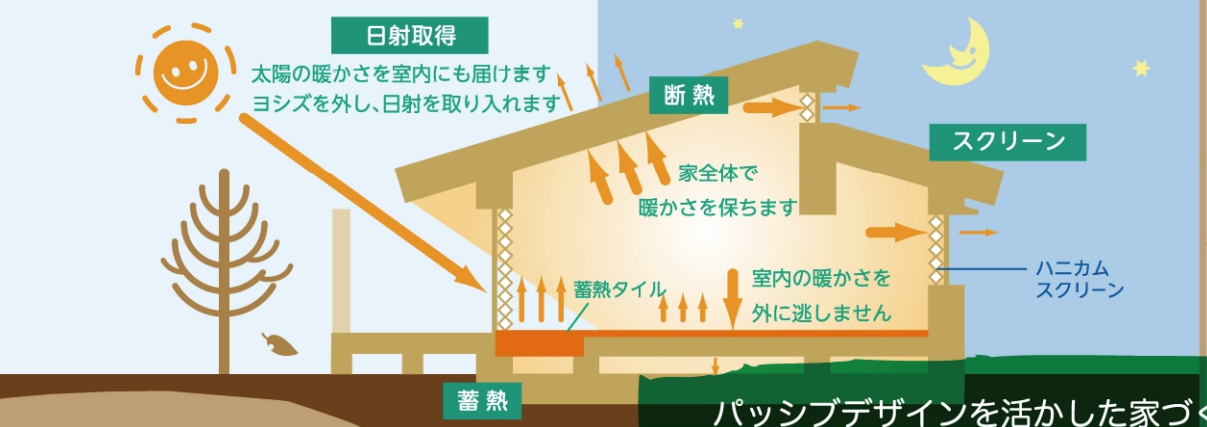


じゃあ、具体的には家づくりにどう活かすの？

**夏** 太陽は、夏と冬で異なる位置が違います 夏はやや高め！  
設計段階でのシミュレーションで夏期は窓面に直射日光を当てません  
つまり、外の暑さを室内に入れません



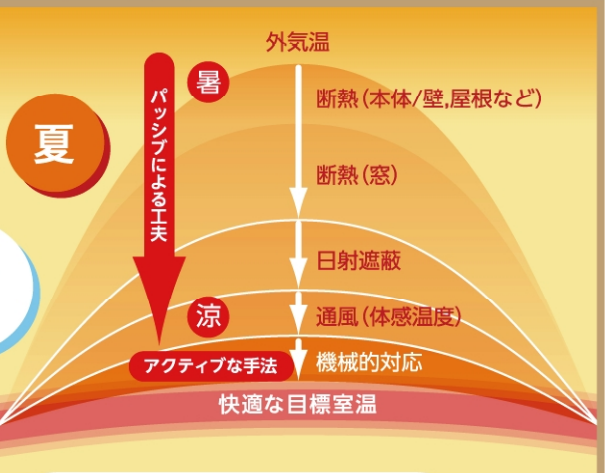
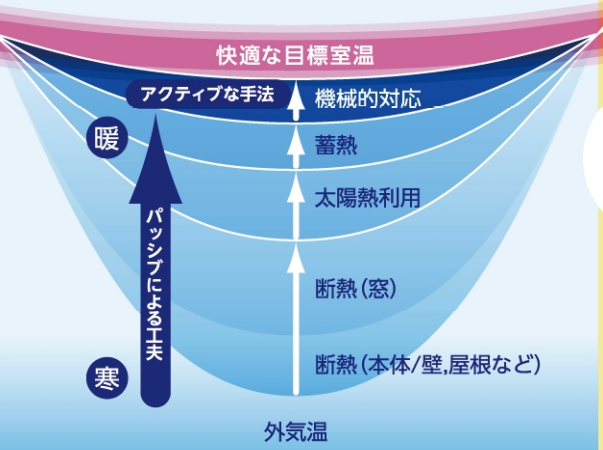
**冬** 太陽は、冬になるとやや低めの位置にきます  
たくさんの日射が室内に届くよう設計し、  
昼間の暖かさを蓄熱タイル等で蓄えます



パッシブデザインを活かした家づくり

パッシブデザインだけで快適な室温になるの？

**冬** 真ん中のピンク色の帯が  
過ごしやすい住宅の  
快適な目標室温の目安だよ  
パッシブデザインで理想の室温まで  
かなり近づけることができるね！



住宅の形状や性能で自然を利用＝パッシブ  
機械的な気温の操作(エアコン等)＝アクティブ  
って考えると分かりやすいね！

参照図：小玉祐一郎「住宅の環境計画」  
神戸芸術工科大学教授 建築家

パッシブとアクティブでつくる快適温度イメージグラフ